

七塚のみなさんへ

みなさんと市政をつなぐパイプ役として

私・高橋しげのりをお役に立たせて下さい

みなさんの願い実現に全力を尽くします

七塚のみなさん。私はいま毎日河北台中学校前で出勤される皆さんへのご挨拶に立たせていただいています。

私が39年前、25歳で七塚町議に当選させていただいて以来、未熟な私を支えてくださった旧七塚町のみなさんにはどんなに感謝しても足りないほどお世話になったと、いまあらためて振り返っております。本当にありがとうございます。

私が最初に選挙に出たとき、子どもさんが防火用水に転落して亡くなるという痛ましい事故がありました。ご家族の無念を思うと胸が張り裂ける思いでした。私は、「こんな事故を二度と起こさないためにこそ政治がある」と考え、「防火用水にフタをして安全対策を」と訴えました。その後対策が講じられました。住民の命と暮らしを守る。"は、私の活動の原点です。

しかし合併後の最初の選挙（12年前）で、私は落選しました。共産党議員がいなくなると議会は様変わりしました。国民健康保険税や介護保険のことなど福祉や社会保障に関する質問は誰もしないし、議案に対する賛否の「討論」がなくなりました。なかでもショックだったのは、「介護保険の利用料助成制度が打ち切られた」と聞かされたことでした。この利用料助成を受けていた500人ほどの人たちはどんなに辛いだろうと……。この制度は、当時の七塚町で私たち日本共産党議員団（当時は2名）が他の議員に呼びかけて共同してつくった制度で、かほく市に引き継がれたものです。福祉の切り捨てがここまでやられるとは…。日本共産党の議席は市民の暮らし・福祉を守る議席だとあらためて思いました。

また私は、子育て世代のみなさんと一緒に、子育て支援の施策の拡充を求めて運動してきました。みなさんと力を合わせて運動すれば町政や市政を動かすことができるといふ確信をいただきました。

安心して住み続けられるかほく市にするために、みなさんの声・要望を市政につなぐパイプ役の仕事を、私・高橋しげのりに引きつづきやらせてください。地元のみなさんのお力添えを、どうかよろしくお願い致します。

二〇一七年三月

高橋しげのり



“「スクールバス」出してほしい”

遠塚ニュータウンや各地で寄せられた声をまとめて市に要望

3月21日に市教育委員会に①遠塚ニュータウンからスクールバス出してほしい、②白尾の中学生の自転車通学認めてほしい、③学校給食費を無料化してほしい、④高校生への通学費補助制度の創設の4点を要望しました。



かほく民報

2017年3月号外
発行・日本共産党かほく支部
(283-1756)
日本共産党かほく支部の見解を
紹介します。